

平成 28 年 7 月

各 位

「平成 28 年度 溶接管理技術者 再認証についてのお知らせ (10 月審査)」

ご送付の件

謹 啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「平成 28 年度前期 溶接管理技術者 再認証についてのお知らせ」を
ご参考までに一部送付させていただきます。

溶接管理技術者資格をお持ちの方で、再認証審査対象者の方々に送付し、
再認証審査の申請を当事務局でお受付けしております。お問い合わせ等が
ありましたら、何卒ご対応の程よろしくお願い申し上げます。

敬 具

一般社団法人 日本溶接協会
溶接管理技術者認証委員会 事務局
TEL 03-5823-6325



平成 28 年度後期

溶接管理技術者の再認証におけるクレジット・システム

再認証申請時期をさかのぼる 5 年（60 ヶ月）間に、下表に示す実績があり、その実績を下表にしたがって換算したポイントが合計 **36 ポイント以上** となることを証明できる者は、WES8103 の 10.3 項に基づき、その実績を再認証審査における評価試験の代替とすることができる。これをクレジット・システムと呼び、詳細を以下に規定する。

- 1) 適用：WES 8103 による溶接管理技術者に適用する。
- 2) 申請：クレジット・システムの適用を希望する申請者は、再認証審査申請書と併せて、クレジット・システム審査申請書および次項で定めるポイントの証明書類を提出しなければならない。
- 3) ポイントの証明書類：
 - (i) 研修会、講習会、研究委員会、検討会、学術発表会、見学会等への出席または発表（論文提出）、および講師や座長を務めた実績に対しては、主催組織を代表する者による証明書。
 - (ii) 刊行物への執筆、投稿、出版に対しては、著述を証明する印刷物等のコピー。
 - (iii) コンサルタント業務に対しては、受託業務内容と従事した時間の記載された業務委託先責任者による証明書。
- 4) 審査および結果の通知：

溶接管理技術者認証委員会より委任された再認証小委員会は、提出された書類を審査し、必要に応じて、電話、面談等による確認を行い、評価試験代替の妥当性を審査し、その結果を申請者に通知する。
- 5) 異議申し立て：

前項の審査結果に異議のある者は、その理由を付した上、異議を申請することができる。これらの要領については、要員認証管理委員会発行の品質マニュアルに定めるところによる。

表：クレジット・システムにおける実績とポイント

	実績	ポイント
1.	溶接および関連する技術 ^{注1)} に関する学・協会（支部を含む）および教育・研究機関等が主催する会合（研修会、講習会、研究委員会、検討会、学術発表会、見学会、等） ^{注2)} における講師または座長としての活動	1 時間 ^{注3)} あたり 3
2.	溶接および関連する団体の発行する書籍や定期刊行物等への、依頼による執筆、またはレビューを伴う論文の投稿 ^{注4、5)}	1 件あたり 1 8
3.	上記 1. 項の会合への論文の発表、または論文等の提出 ^{注4)}	1 件あたり 1 2
4.	上記 1. 項の会合への出席 ^{注6)}	1 時間 ^{注3)} あたり 1
5.	外部団体および外部企業 ^{注7)} に対する、溶接および関連する技術 ^{注1)} に関するコンサルタント活動。但し、業務の一環として行っている内容は除く。	1 時間 ^{注3、8)} あたり 1
6.	その他、溶接および関連する技術 ^{注1)} への社会貢献または第三者への貢献、ならびに自己研鑽に寄与したと自他ともに認められる活動で、いずれも第三者による証明が可能な活動。溶接および関連する技術に関する外部団体等からの表彰、規格化・標準化への貢献あるいは学・協会等への貢献等。	別に定める ^{注9)}

注 1) 溶接および関連する技術とは、溶接管理技術者に要求される技術分野に限定される。

注 2) 該当する例は、溶接管理技術者研修会、非破壊検査事業者（CIW）研修会。該当しない例は、勤務先で実施されたもの、建築鉄骨ロボット溶接オペレータ関係、溶接技能関連（検定立合、実技指導、講習）等

注 3) 正味 50 分を 1 時間としてカウントして良い

注 4) 著作物、論文等が共著の場合、および、特許や表彰が複数名による場合、少なくとも 10% の貢献を要する。

注 5) レビューを伴わない論文の投稿、あるいは自主投稿による場合は第 3 項のポイントが適用される。

注 6) 溶接管理技術者研修会の受講者は除く。

注 7) グループ企業は除く。

注 8) 調査・準備等の時間を含めることができるが、旅行・移動等の時間を含めることはできない。

注 9) 再認証小委員会が内容の妥当性評価を行い、必要により証明書類等の提出を求め、ポイントを決定し、総合評価する。社会的貢献には、溶接界に有益な特許の成立も含まれる。また、再認証審査 特別級筆記試験におけるレポート（小論文形式）で特に優れたものは、後日特別に推薦を受けて、日本溶接協会 WE-COM へ掲載される場合があるが、この場合、次回再認証審査時に 36 ポイントが与えられる。

JIS Z 3410 (ISO 14731) / WES 8103による 平成28年度 後期 溶接管理技術者 再認証についてのお知らせ

一般社団法人 日本溶接協会 溶接管理技術者評価委員会

溶接管理技術者は、認証後5ヶ年を経過する前に再認証審査を受けなければなりません。再認証審査は原則、再認証審査申請書に基づく①書類審査を行った上、別表記載の各地で開催する②評価試験（ガイダンス、問題演習および筆記試験）により実施いたします。

＜実施要領＞

1. 再認証の対象者

認証取得（登録）から5年目（サーベイランスを受けて3年目）を迎える、下記の認証者が対象となります。

認証等級	有効期限： 2017年2月28日	有効期限： 2017年8月31日
特別級	SS01117 ~ SS01237	SS04475 ~ SS04639
	SS01897 ~ SS02112	SS05207 ~ SS05388
	SS04145 ~ SS04474	SS06588 ~ SS06896
	SS05093 ~ SS05206	SS08240 ~ SS08401
	SS06496 ~ SS06587	SS20001 ~ S020023
	SS08013 ~ SS08239	S070001 ~ S070008
	S010015 ~ S010021	S120001 ~ S120014
	S060012 ~ S060022	
	S110017 ~ S110026	
1 級	1S01117 ~ 1S01237	1S04475 ~ 1S04639
	1S01897 ~ 1S02112	1S05207 ~ 1S05388
	1S04145 ~ 1S04474	1S06588 ~ 1S06896
	1S05093 ~ 1S05206	1S08240 ~ 1S08401
	1S06496 ~ 1S06587	1020001 ~ 1020207
	1S08013 ~ 1S08239	1070001 ~ 1070171
	1010149 ~ 1010304	1120001 ~ 1120380
	1060211 ~ 1060409	
	1110155 ~ 1110299	
2 級	2S00703 ~ 2S01001	2S15735 ~ 2S16494
	2S03621 ~ 2S04753	2S19377 ~ 2S19926
	2S14719 ~ 2S15734	2S26544 ~ 2S27611
	2S18750 ~ 2S19376	2S31586 ~ 2S32446
	2S25763 ~ 2S26543	2020001 ~ 2020712
	2S30929 ~ 2S31572	2070001 ~ 2070894
	2010565 ~ 2010970	2120001 ~ 2120799
	2050474 ~ 2060969	
	2110523 ~ 2111024	
審査の機会 (次頁参照)	2016年 10月（今回が最後の案内となります。必ず申込みください。）	2016年 10月（今回）または、次回の 2017年 5月（予定）のどちらかとなります。

2. 再認証審査の内容

再認証審査は、①書類審査と②評価試験により実施します。なお、必要と認められた場合には、二次審査が行なわれることもあります。

携帯電話、スマートフォン等の通信端末および電子機器を所持している人は、マナーモードにするか電源をお切りください。筆記試験中は、電源をお切りください。時計として使用することもできません。

5.2：申請書の送付

- (1) 再認証審査申請書に必要事項（審査地・コード・受審日・職務経歴など）を記入し、下記の送付先へ、申し込み締切日までに送付してください。
- (2) **必ず縦 4.5cm、横 3.5cmの鮮明な証明用写真**（最近 6 か月以内撮影の脱帽正面肩より上のもの）をのり付し、申請書に添付してください。この写真は**会場での受審者確認**および、新しく発行する**適格性証明書の添付写真**として使用いたします。
- (3) 送付先：〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 (TEL) 03-5823-6325
一般社団法人 日本溶接協会 溶接管理技術者 認証委員会 事務局

5.3：申し込み締切日

締切日：9月2日(金)必着 (再認証審査申請書のみ提出)

5.4：身体的障害等による理由から、当日の受審に不安のある方は事前に事務局までご連絡ください。

6. 申し込みの取消について

再認証審査申請書の受付後に申し込みを取消す場合は、費用から手数料1,000円（消費税 8%を含む）を差引いて返却いたします。なお、**申し込み締切日以降に取り消す場合には、費用の返却はいたしません。**

7. 審査結果の通知

再認証審査の合否は、審査日から約2～3か月後（2016年12月下旬頃）に郵送にて通知いたします。

8. 登録手続きと新しい適格性証明書の交付

- 8.1：合格者は、登録手続きを行う必要があります。**合格通知書に同封される登録申請書によりお手続きください。**なお、**登録費用は19,440円**（消費税 8%を含む）です。（登録手続きが行われないと、新しい適格性証明書は交付されません。）
- 8.2：締切日までに登録手続きが行われた場合、**新しい適格性証明書は、現有する証明書の有効期限の約1週間前に交付します。**
申請者の有効期限によっては、登録申請書を長期保管いたしますので、あらかじめご了承ください。

★キャリア形成促進助成金、CPDS等の助成制度について

キャリア形成促進助成金、CPDS等の助成制度の活用を希望される場合、必要書類を準備いただき、ご記入の上、溶接管理技術者認証委員会事務局まで返信用封筒を付けてお送りください。事務処理の都合上、ご返送までにお時間をいただく場合があります。ご了承ください。

★クレジット・システムのご案内

この制度は再認証審査の内、評価試験（ガイダンス、問題演習および筆記試験）を免除（クレジット・システムで代替）するものです。登録期間中の過去5年間（60か月）において、溶接管理技術者に要求される技術分野に關した文筆活動や講演会、シンポジウムへの参加などにより、**クレジット・ポイントを36ポイント以上獲得したことが証明できる場合に限定しております。**

ポイント換算の詳細は別紙、「溶接管理技術者の再認証についてのクレジット・システム」をご参照ください。クレジット・システムの適否については、厳格で適正な審査を行います。

クレジット・システム審査 申込締切日：8月22日(月)必着

- ・ **クレジット・システム審査申請書**と**再認証審査申請書**とを併せてご提出ください。
- ・ **再認証審査申請書**の必要事項も漏れなくご記入ください。
- ・ クレジット・システム審査申請者も、申請料および評価試験料をお振込みください。
- ・ クレジット・システムの審査結果（受審票）は、9月中旬に郵送いたします。

4.7：評価試験会場および実施日

下記の日程より1日選択し、再認証審査申請書にご記入ください。表中の「等級」欄に、★印の付いている受審日は「特別級・1級」と「2級」に部屋を分けて、ガイダンスを実施いたします。筆記試験は、全日程とも同様の形式で行います。

審査地	コード	等級	受 審 日	会 場	収容人数
札幌	A	全等級	10月21日(金)	札幌商工会議所(札幌市中央区)	180名
仙台	B	★	10月24日(月)	宮城県建設産業会館(仙台市青葉区)	特・1級：60名 2級：140名
千葉	C	全等級	10月11日(火)	千葉県経営者会館(千葉市中央区)	130名
東京	D	2級	10月03日(月)	日本教育会館(千代田区一ツ橋)	170名
東京	E	特別級 ・1級	10月03日(月)	溶接会館(千代田区神田佐久間町)	100名
東京	F	2級	10月19日(水)	日本教育会館(千代田区一ツ橋)	170名
東京	G	特別級 ・1級	10月19日(水)	溶接会館(千代田区神田佐久間町)	100名
東京	H	2級	10月31日(月)	日本教育会館(千代田区一ツ橋)	170名
東京	I	特別級 ・1級	10月31日(月)	溶接会館(千代田区神田佐久間町)	100名
横浜	J	★	10月07日(金)	関内新井ホール(横浜市中区)	特・1級：60名 2級：100名
横浜	K	全等級	10月21日(金)	関内新井ホール(横浜市中区)	140名
新潟	L	全等級	10月11日(火)	燕三条地場産業振興センター ヌビ7(三条市須頃)	140名
福井	M	全等級	10月20日(木)	福井県織協ビル(福井市大手)	160名
名古屋	N	★	10月17日(月)	名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)	特・1級：70名 2級：150名
名古屋	O	全等級	10月25日(火)	名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)	150名
大阪	P	★	10月18日(火)	大阪YMCA会館(大阪市西区)	特・1級：80名 2級：200名
大阪	Q	★	10月27日(木)	大阪YMCA会館(大阪市西区)	特・1級：80名 2級：200名
大阪	R	全等級	10月31日(月)	大阪YMCA会館(大阪市西区)	200名
広島	S	★	10月18日(火)	広島国際会議場(広島市中区)	特・1級：70名 2級：200名
松山	T	全等級	10月13日(木)	松山市総合コミュニティセンター(松山市湊町)	150名
福岡	U	★	10月03日(月)	福岡県中小企業振興センタービル(福岡市博多区)	特・1級：80名 2級：200名
福岡	V	全等級	10月24日(月)	福岡県中小企業振興センタービル(福岡市博多区)	200名

5. 再認証審査の申し込みについて

5.1：費 用

(1) 申請料：6,480円(消費税8%を含む)

(2) 評価試験料：21,600円(消費税8%を含む)

■上記費用は、再認証審査申請書に添付の郵便振替払込書を使用して、郵便局よりお振込みください。

※ 郵便振替払込金受領証をもって、領収書に代えさせていただきます。あらかじめご了承ください。

※ 銀行振込みは取り扱っておりません。また、現金書留でのお支払いはお控えください。

■再認証審査申請書の裏面に、郵便局から受取った郵便振替払込金受領証(ATMをご利用の場合、ご利用明細票)のコピーをのり付けしてください。(郵便振替払込金受領証、ご利用明細票のコピーのない場合は、受付いたしかねます。ご注意ください。)

3. 審査の機会

1年間に2回（原則として年2回、5月および10月）実施する再認証審査の内、どちらかの機会に審査を受けなければなりません。

3.1：有効期限が2017年2月28日までの方：今回の手続きをされませんと有効期限が切れ、失効となります。

3.2：有効期限が2017年8月31日までの方：今回または次回の審査で必ず手続きをしてください。次回のご案内（2017年5月実施予定分）は2017年3月頃発送予定です。

※ なお、有効期限が2017年8月31日までの方は、次回の日程が貴殿の都合と合わない可能性もありますので、可能な限り最初の機会に受審することをお勧めいたします。

4. 評価試験について

4.1：評価試験の内容（評価試験は次の3項目で構成されます。）

(1) ガイダンス（溶接品質マネジメントの国際化動向、最近の溶接技術の進展、溶接規格の改訂動向、溶接構造物のトピックス等の紹介および解説）

(2) 問題演習とその解説（1級および2級を対象）

(3) **筆記試験**

4.2：**筆記試験の概要**（詳細は当日説明いたしますが、次の点をあらかじめご確認願います。）

(1) 全等級：参考図書の持込み・閲覧を認めます。（当日配付する「演習問題集＜2級・1級＞」は除く。）

(2) 特別級：溶接に関するテーマ（例えば、溶接管理技術者の職務にて経験された成功例・失敗例・事故例など）で、**レポート（小論文形式）**を執筆していただきます。

①執筆は筆記試験時間内とし、終了後速やかに提出してください。

②パソコンの持ち込み・使用は認めません。

③小論文を意識した記述をしてください。（背景、問題提起、詳細説明、理論的根拠、考察、対論、結論、提案などが順序立てて明解に、文章によって記述されていること。図・表・イラストなどは、あくまで説明のための補助的なものとし、事前に用意いただいた図表の貼付は認めません。）

④試験時間は2時間。

(3) 1級：溶接管理技術の4分野（Ⅰ. 溶接法および機器、Ⅱ. 材料および溶接冶金、Ⅲ. 構造および設計、Ⅳ. 施工・応用エンジニアリング）から2題ずつ（計8題）出題する**記述式筆記試験**を行います。ただし、**各分野1題のみ選択し、計4題**（4分野で1題ずつ）を解答する。試験時間は1時間。

(4) 2級：**解答選択方式**の筆記試験を行います。問題数は10題とする。試験時間は1時間。

4.3：教材 ※パワーポイント、板書等の撮影はお断りしております。また、録音や動画撮影もお断りしております。

評価試験の当日、「溶接管理技術の進歩」、「別冊：演習問題用参考資料」、「演習問題集＜2級・1級＞」を配付いたします。

4.4：定員

各地区の評価試験会場の収容可能人数は、次頁の表をご参照ください。定員を超過した場合には他地区、他時期に回っていただくこともあります。有効期限の迫った方は、お早めにお申し込みください。

4.5：受審票の送付

(1) 申し込み受付後、9月初旬より随時、受審票（はがき）を受審者本人に送付いたします。

(2) 受審票の送付先は再認証審査申請書で希望された通知先となります。

(3) 当日は**受審票と筆記用具を必ずご持参ください。**

4.6：実施時間

9時30分 ～ 17時00分頃